

<基本情報>

所在地：熊本県上益城郡山都町

(令和3年度九州地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール九州農政局長賞受賞)

<農場概要>

- 有機JAS認証ほ場3.7ha
(にんじん、ばれいしょ、にんにく、たまねぎ等)



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 有機農業を営む義父母から離農の相談を受けたことを機に、平成19年に就農を決意。
翌年、県立農大等で農業の基礎を学び、平成21年に有機農業2.1haを経営承継し、**同年(2009年)に有機JAS認証を取得**。現在、家族2名と従業員2名で多品目栽培に取り組んでいる。

<販売について>

- 平成23年(2011年)に、共同出荷によるコスト削減や安定的な出荷及び新たな販路確保を目指し、「山都町有機農産物出荷協議会」を代表として設立。平成25年(2013年)には同協議会と他社との事業統合を経て、平成28年(2016年)に山都町最大の有機農産物出荷プラットフォーム「(株)肥後やまと」(有機農業者48名で構成)の法人化に携わった。販売の一元化により、それぞれが実施していた荷造りや出荷作業を一か所に集約化したことで、労働時間の大幅な削減や流通コストの削減を実現。また、出荷品目が増えたことが強みとなり、個人やレストラン等への新たな販売先の確保に繋がった。なお、生産量の約半分は、(株)肥後やまとを通して出荷しているが、残りは個人で出荷している。
- 山都町有機農産物のブランド化を図るため、共通デザインシールを導入し、積極的にPR。



<病虫害対策・除草対策・土づくり>

- 病虫害対策
鳥獣被害軽減のため、休耕期間を設けないよう輪作体系を実施。
- 雑草対策
雑草防止対策は、従来の適期耕耘管理や中耕除草に加え、太陽熱養生処理、畝間マルチを実施。
- 土づくり
地域の畜産堆肥、米ぬか、粃殻、薫炭、落ち葉等をブレンドした自家調製のバイオ堆肥や緑肥を施用。
土壌分析結果に基づき、施肥設計ソフトを活用し、施肥を実施。

<ICT(情報通信技術)等の活用>

- 有機JAS認証ほ場の栽培計画、管理記録は、審査時にいつでも確認可能となるようクラウド上で管理。
- 農機具保管庫は、通信型の防犯カメラを設置。

<情報発信等について>

- 消費者とのコミュニケーションをとり、互いの顔が見える販売とするため、インターネット販売の全てに手紙を添えている。
- SNSを活用し、有機農業の日々の作業等を発信し、交流を深めている。



【お問合せ先】TEL. 080-5375-2480

フェイスブック: <https://ja-jp.facebook.com/koshi.nishiyama.5>